

第374回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 在宅聴取による遠隔開催
2. 番組聴取合評 [番組名] Perky Sound Flash
[放送日時] 令和3年8月28日(土) 9:00~9:55
[出演者] 西連地あゆみ
3. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
4. 番組審議 [番組名] Perky Sound Flash
[放送日時] 令和3年8月28日(土) 9:00~9:55
[出演者] 西連地あゆみ

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

●番組全体の印象

浜松の天気で発信地のイメージを想起させる表現はイントロとして良い。

蕎麦屋のエピソードは原稿を読んでる感あり。自分の体験なら自分の言葉で。

「が～」「から～」「にね～」「で～す」「ね～」「も～」「です～」「よ～」「ま～す」の語尾が気になる。

●パーキーズスマイルアプリ

ところ変われば:問題なし

メッセージ紹介:「ラ・ジ・オ・ネ・エ・ム」の読み方がメッセージ内容よりも気になる。

●パーキーサウンドセッション

西連地の選曲テーマ(まだまだこれから)に、違和感がある。

●成長を感じるか

西連地の成長というより、年を重ねた口調が、親しみより違和感を感じてしまったのは残念。

番組オープニングは練習したが、その後は練習なしで原稿を読み切れないので放送した気がした。

加藤委員

●パーソナリティについて

クリアではっきりとしていて聞きやすく、爽やかで穏やかさも感じさせてるので、土曜日の朝の「パーキーサウンドフラッシュ」にはとても向いていると感じた。

冒頭のラーメン漫画のエピソードは、やや緊張感があるのか、少しひこちない印象だった。そのためオープニングの軽快さとは少し異なる流れになったように感じた。生放送なので、逆に緊張感をポジティブに活かすようなメタコメント(「伝わってますか?」など)を入れてもよかつたのではないか。

●コーナーについて

スマイルアプリの話題は、興味深い内容だったが、話を「知識」として伝えようとしているのか、おしゃべりの「ネタ」として伝えようとしているのかわからなかった。前者であればもう少し詳細に伝えた方が良いが、後者であれば、もっと気軽に話せるのではないかと感じた。コーナーの特徴として「アンテナにひっかかったもの」とあるが、それをどのようなレベルの話として伝えていくのか決めておくと良いのかもしれない。

●番組全体について

リスナーからのお便りを読むテンポがとても良く、聞きやすかった。リスナーからのメッセージもパーソナリティや番組の雰囲気とあっており、「最長番組」ならではのリスナーとの関係性を感じられた。なお「36分になるところです、なりました。」の時報コメントはライブ的な共有感があって、ラジオらしいと思った瞬間だった。

番組全体を通して、土曜日の朝の番組らしい、明るくリラックスした気持ちで聞ける番組だと感じた。また音楽も「TSUKEMEN」といった面白いグループを紹介したり、サウンドセッションのテーマと音楽もよかったです。リスナーも固定したファンがいる印象を受けた。

服部委員

●明るい声で、休日の朝らしく爽やか。でも騒がしい感じでなく、はつらつとした雰囲気の中で最後まで聞くことができた。

●少し語尾で気になったところ(強調とイントネーション)、トークの合間にに入る「え～」が気になった。

●3つのコーナーについて

スマイルアプリ:今回の中国との文化の比較は興味深かったです。流暢な中国語も◎。この時間のリスナーは案外幅広いと思いますので、これからも毎回の話題は、視野を広く持って見つけてきてほしいです。

Song for us:バイオリンのイメージが無かったサウダージ。いかにも、でない選曲が面白かったです。曲に乗せてリスナーからの便りを紹介していました。リスナーからの反応がすぐあり、支持が多いという表れですね。

サウンドセッション:テーマとぴったりで楽しく聞けました。

●週末のこの時間の聴取の仕方は、ドライブ中、のんびり家の中とイメージします。(リスナー層もひろいはず)どちらでも、曲がしっかりと流れるのはリスナーから支持されると思いました。音楽番組というコンセプトとも合致しています。その中でリスナーメッセージや話題を盛り込みながら進行するという構成。こういう定番番組は力を抜いて聞けるうえ、週末の雰囲気を壊さない西連地さんの進行で、気持ちよく聞かせていただきました。

木宮委員長

●西連地について

言葉使いがおかしいと思うところがあり、全体的に話しがつたないと感じられた。「長寿番組で自分の個性をどう出せるのか」がポイントとなるが、現状では彼女らしさはあまり感じられない。(それが何かが見えていないのでは…)わざわざ遠方から来る意味を感じて欲しいと思う。

●番組内容について】

長寿番組であり、全体の雰囲気は週末の朝らしくまとまっている。

選曲はオリジナリティが感じられて好感が持てる。

会社サイド

前回(第 373)回ではパーソナリティコンビの完成度の高さを評価頂いた一方、ライブ感の乏しさなどについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和 3 年 10 月 5 日 (火) 在宅審議となります。

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信

